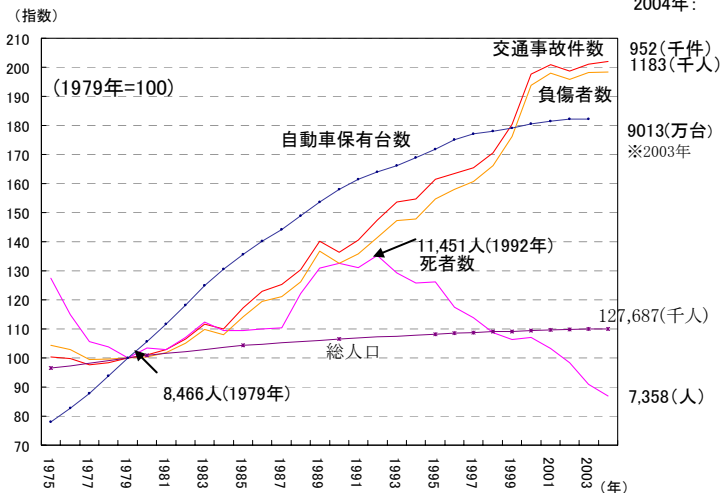


指標：交通事故件数、交通事故による負傷者・死者数

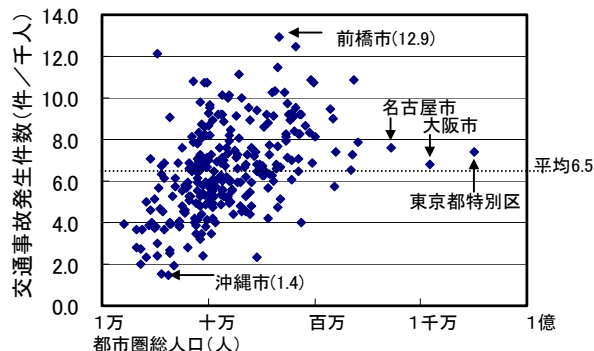
(道路の安全性の動向)

近年、交通事故件数と負傷者数は自動車保有台数の上昇に伴い増加してきたが、2000年以降横這いとなっている。また2004年には死者数が1975年以降で最も少なくなった。ただし、都市圏で千人あたり交通事故発生件数をみると最大12.9(前橋市)から最小1.4(沖縄市)までばらつきがある。

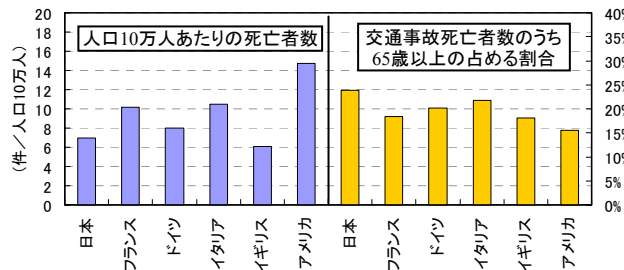
交通事故件数等の推移(全国)



人口あたりの交通事故件数(2000年)



各国の交通事故による死亡者数(2003年)



(注) 1. 「交通事故件数等の推移」の「死者数」は事故発生24時間以内の死亡者数。
「各国の人口10万人当たりの交通事故者数」の死亡者は事故発生30日以内の死亡者数。
日本は2002年の値。

2. 「人口あたりの交通事故件数(2000年)」の数値は各市が中心市をなす都市圏で集計。
都市圏は「日本の都市圏設定基準」(金本良嗣・徳岡一幸)による。

(出典) 警察庁「警察白書」、OECD「International Road Traffic and Accident Database」(HP)
内閣府「交通安全白書」より国土交通省国土計画局作成。